



スキー場諸元

名称：川場スキー場

総面積	42 ha
コース数	10 本
標高差	640 m (1,230 m-1,870 m)
最大斜度	34 度 (無名峰トライアル)
リフト総延長	6,093 m
リフト数	5 基
事業者	川場リゾート(株)
開業時	武尊レクリエーション(株)



都会的な施設で、充実度抜群。

このスキー場の1番の特徴は、立体駐車場。スキー場入口から要塞感を放つ立体駐車場は、デパート直結の立駐をイメージさせ、スキー場にながら都会感を味わうことができる。よく考えれば、屋根付きの立体駐車場は、車の雪下ろしが不要なため、スキー場の駐車場として完成された形なのかもしれない。ちんけな立体駐車場だろうと思う方は、スキーへ是非足を運んで欲しい。

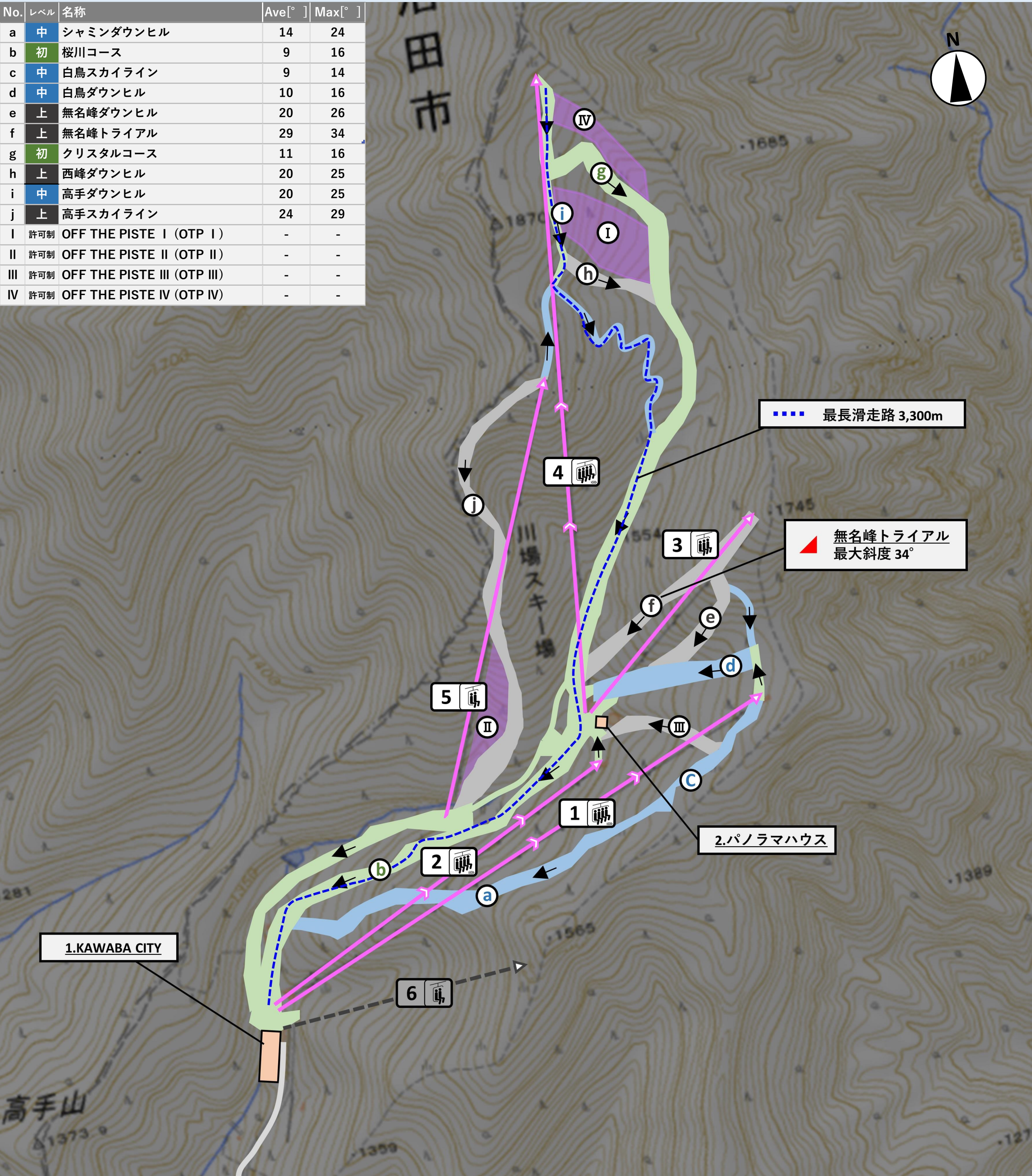
スキー場周りには宿がなく、完全日帰り特化型のスキー場であるが、その充実度は濃い。まず、標高が高いため雪質が良く、雪量も多いため4月まで滑走を楽しめる。更に、こぶ、スノーパーク、関東随一のすり鉢地形の多さなど、飽きることなく自分のスタイルに合った斜面を見つけることができる。

個人的にスキー場は、ローカル・イケイケ・ファミリー・リゾート型の四つに分類されると思っているが、このスキー場はイケイケ寄りのスキー場で、若い人も多く活気がある。

川場は良くパンフレットにアクセス抜群！と明記されることが多いが、私は総合的にアクセスが良いとは思わない。確かに、沼田ICから近いことは頷けるが、スキー場手前の道路は斜度有りのカーブが多く、降雪後はスタックする車も多い。運転に不安な方は、山麓の川場田園プラザからシャトルバスが出ているため、それを活用するのも有効な手段と考える。

コースマップ

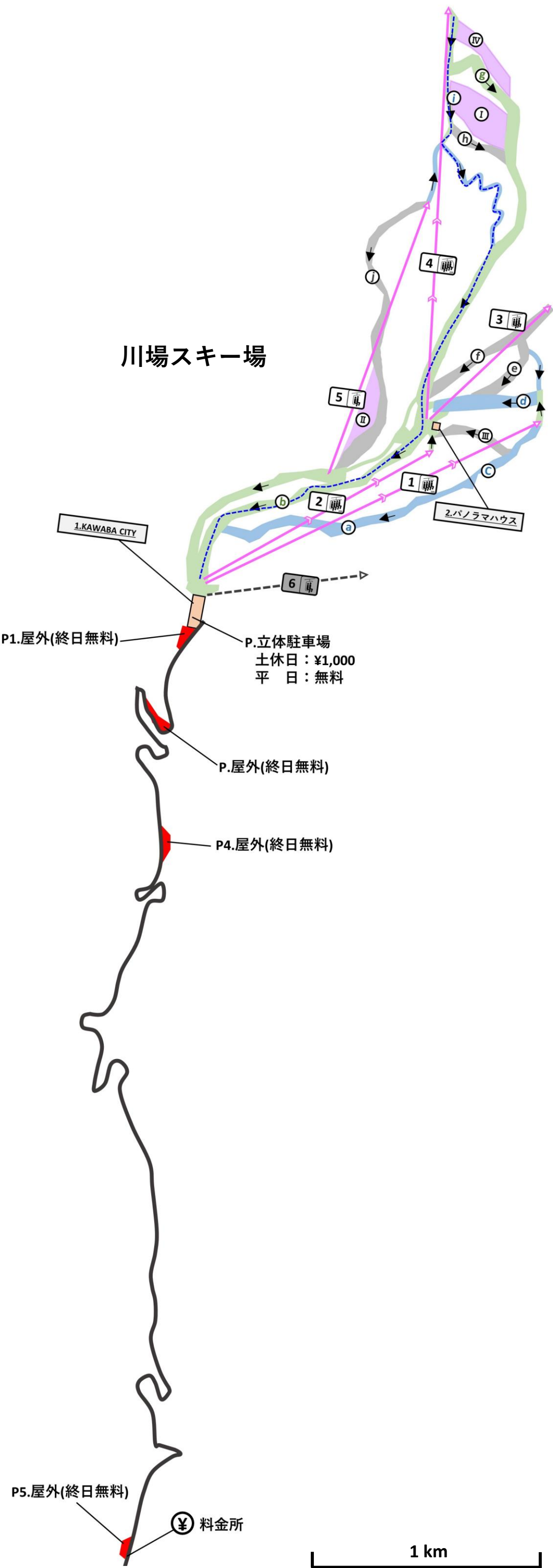
No.	レベル	名称	Ave[°]	Max[°]
a	中	シャミンダウンヒル	14	24
b	初	桜川コース	9	16
c	中	白鳥スカイライン	9	14
d	中	白鳥ダウンヒル	10	16
e	上	無名峰ダウンヒル	20	26
f	上	無名峰トライアル	29	34
g	初	クリスタルコース	11	16
h	上	西峰ダウンヒル	20	25
i	中	高手ダウンヒル	20	25
j	上	高手スカイライン	24	29
I	許可制	OFF THE PISTE I (OTP I)	-	-
II	許可制	OFF THE PISTE II (OTP II)	-	-
III	許可制	OFF THE PISTE III (OTP III)	-	-
IV	許可制	OFF THE PISTE IV (OTP IV)	-	-



No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差 グラフ
1	4	CLD	-	白鳥エクスプレス	1,508		1,289	1,625	336	
2	4	CLD	-	桜川エクスプレス	1,111		1,289	1,497	208	
3	3	CLF	-	無名峰トリプル	677		1,487	1,727	240	
4	4	CLD	B	クリスタルエクスプレス	1,620		1,487	1,847	360	
5	2	CLF	-	高手ペア	1,177		1,407	1,808	401	
6	2	CLF	-	▲シャミンペア	705		1,289	1,536	247	

■：連絡線 ▲赤字：休止中/廃止

駐車場情報



P.立体駐車場

時間(平日)	6:00～18:00
(休日)	1:00～18:30
料金(平日)	無料
(休日)	¥1,000
収容台数	約900台

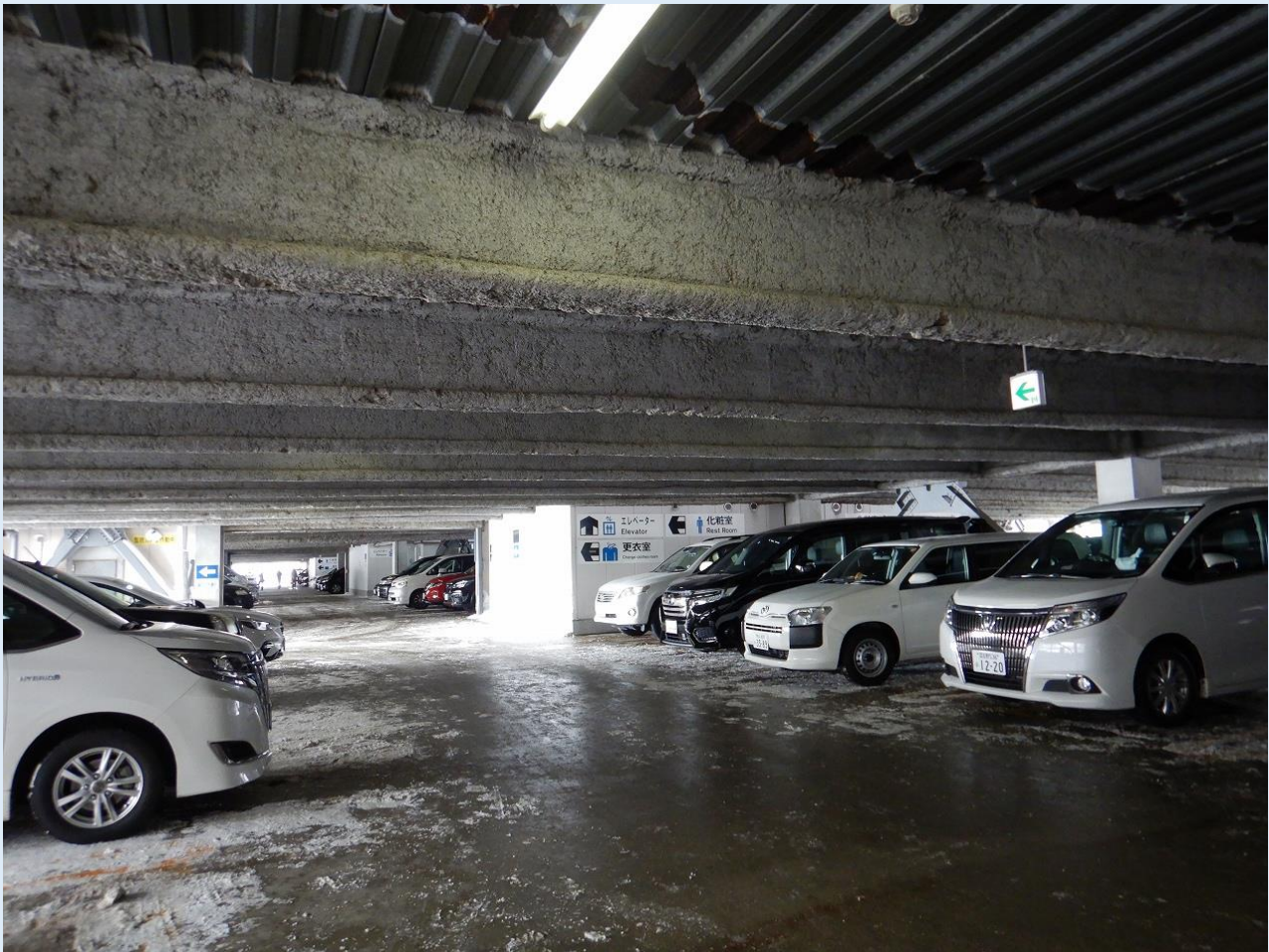
P5.駐車場の料金所にて駐車料金を払い、案内された階へ入庫する。
土休日は、事前予約可能(¥3,000)

P1～5.屋外駐車場

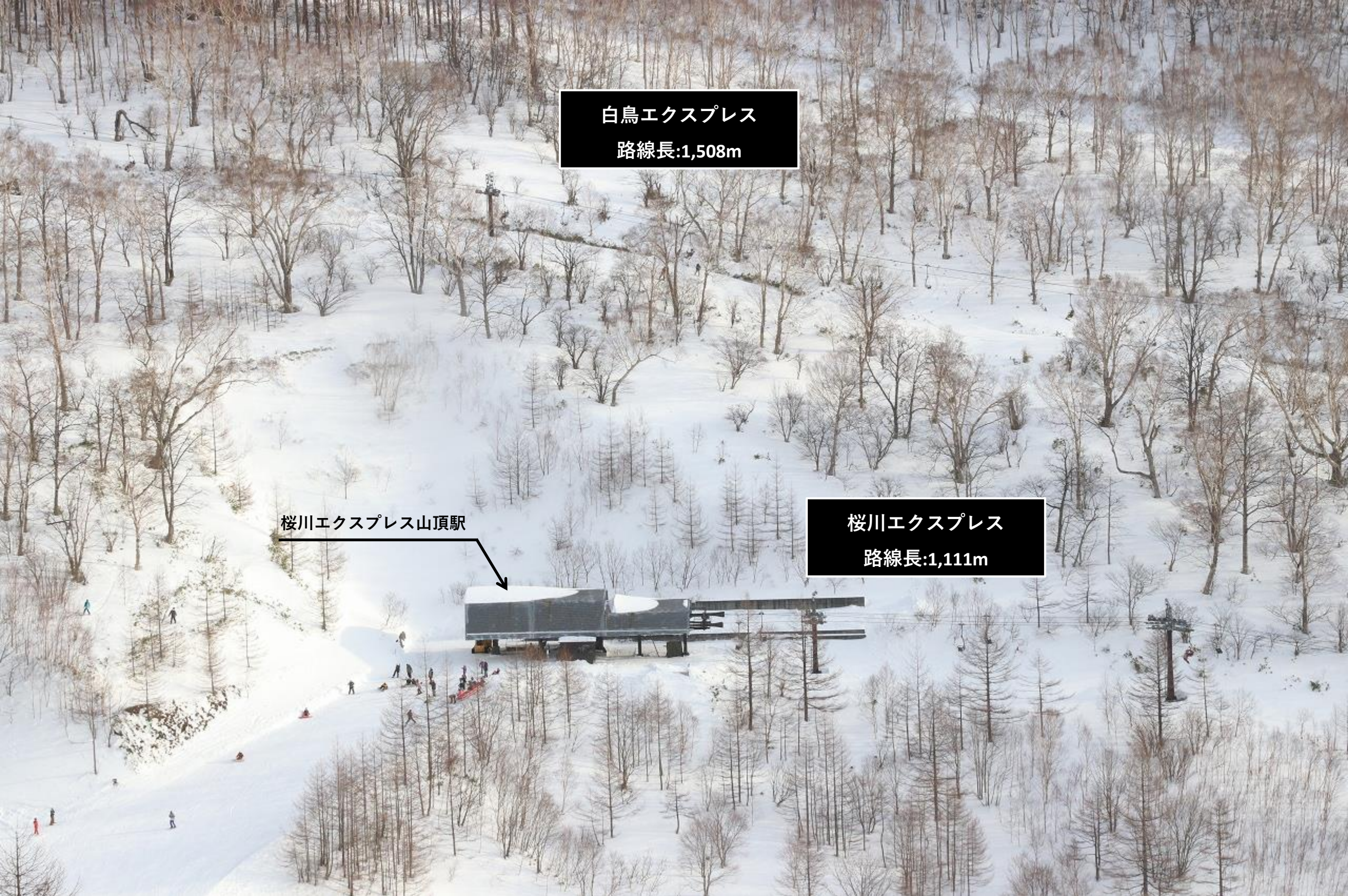
時間(平日)	6:00～18:00
(休日)	1:00～18:30
料金(平日)	無料
(休日)	無料
収容台数	約300台

P4,5.はシャトルバスあり。

▼ 立体駐車場







白鳥エクスプレス
路線長:1,508m

桜川エクスプレス
路線長:1,111m

桜川エクスプレス山頂駅

白鳥/桜川エクスプレス

長さが違う双子リフト

川場のリフトはまず桜川(牛乳石鹸)と白鳥(バートン)から始まる。デタッチャブルクワッドリフトが並行してあるスキー場は、非常に珍しく、建設時の川場の勢いが伝わってくる。桜川は白鳥より路線長短く、初級者向け。白鳥は路線長1,508mもあり一部急な斜面もあるため中級者以上向けである。

1.白鳥エクスプレス



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：白鳥エクスプレス

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	1,508 m
高低差	336 m
輸送能力	2,400 p/h
回転方向	時計
支柱数	23 基
速度	4.0 m/s
定員	4 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1988年9月
運行開始年月	1990年1月
メーカー	日本ケーブル

1.白鳥エクスプレス

▼左手に川場のゲレンデが見渡せる。
搬器は足掛け付き。



▼車庫線はなく、夏場のみ搬器を取り外す。



2.桜川エクスプレス



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：桜川エクスプレス

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	1,111 m
高低差	208 m
輸送能力	2,400 p/h
回転方向	時計
支柱数	17 基
速度	4.0 m/s
定員	4 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1988年9月
運行開始年月	1989年1月
メーカー	日本ケーブル

2.桜川エクスプレス



▼シャミンダウンヒルコースをまたぐ。
白鳥エクスプレス同様に足掛け付き。



▼美しい白樺森

3.無名峰トリプル



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：無名峰トリプル

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	677 m
高低差	240 m
輸送能力	1,542 p/h
回転方向	時計
支柱数	13 基
速度	1.8 m/s
定員	3 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年8月
運行開始年月	1990年2月
メーカー	日本ケーブル

3.無名峰トリプル

▼路線長677mに対し、高低差240mもあり
こぶなど歯ごたえのあるコースが楽しめる。



▼3人乗りの足掛け付きは非常に珍しい。



4.クリスタルエクスプレス



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：クリスタルエクスプレス

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	1,620 m
高低差	360 m
輸送能力	2,400 p/h
回転方向	時計
支柱数	28 基
速度	4.0 m/s
定員	4 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山頂
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年9月
運行開始年月	1990年12月
メーカー	日本ケーブル

4. クリスタルエクスプレス



4. クリスタルエクスプレス

▼山麓駅は当時としては先進的なデザイン。



▼山頂駅は標高1,847mと全国のスキー場の中でも高い位置にある。



5. 高手ペア



線路諸元

名称：高手ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	1,177 m
高低差	401 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	21 基
速度	1.8 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年8月
運行開始年月	1990年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



5. 高手ペア



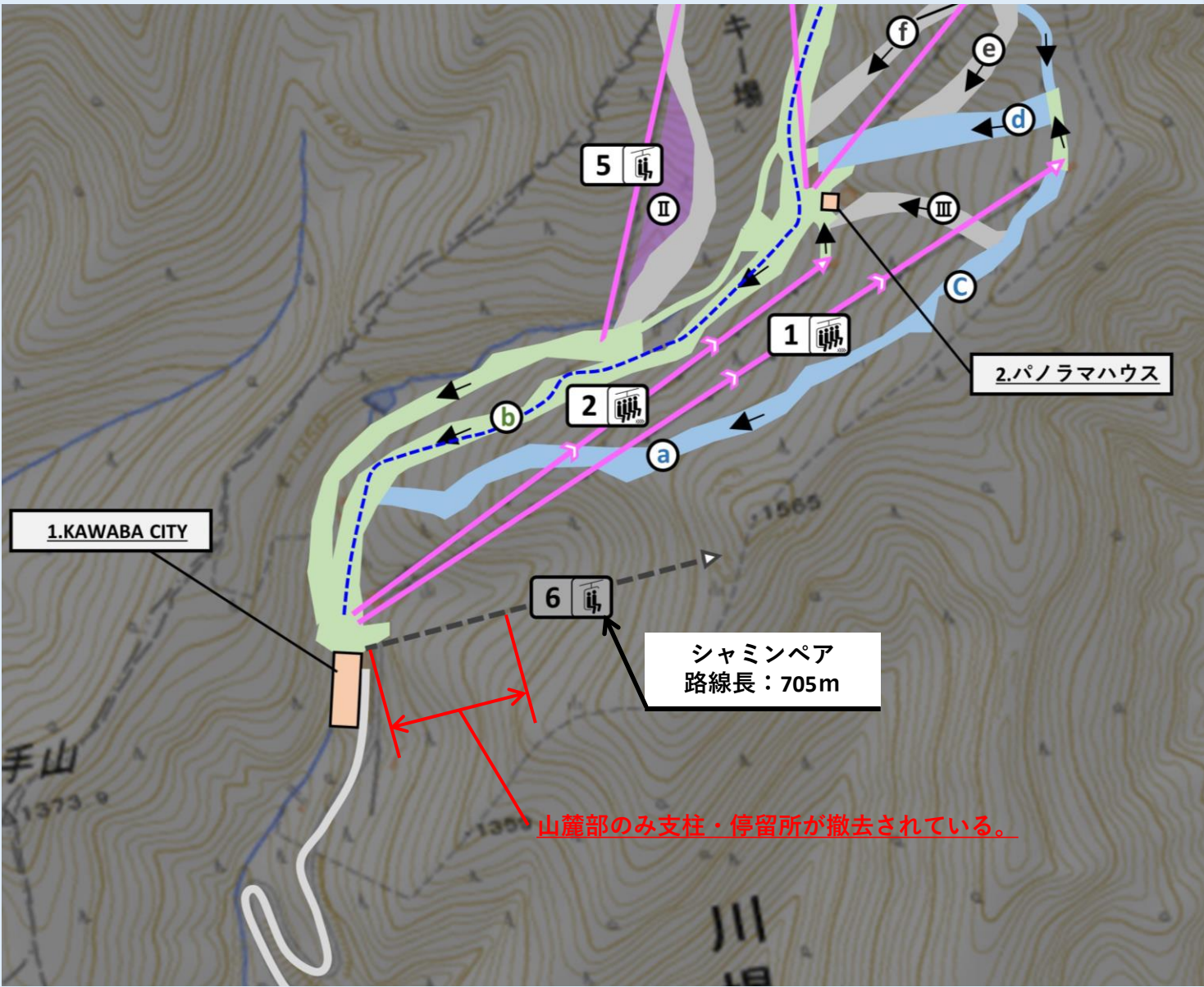
6.シャミンペア(廃止・一部撤去)



線路諸元

名称：シャミンペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	705 m
高低差	247 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	? 基
速度	? m/s
定員	4 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年8月
運行開始年月	1990年12月
メーカー	日本ケーブル



2007年シーズンより休止している。(廃止済み)